

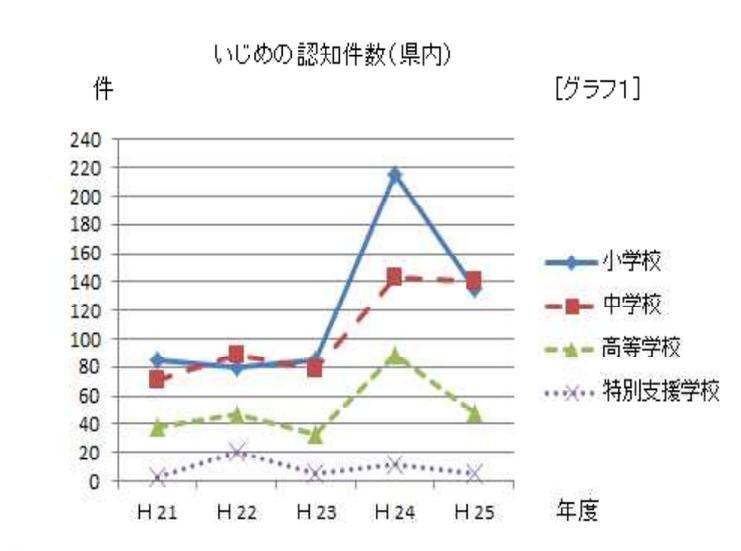
## 第2章 いじめの現状

(Q7) 県内のいじめの状況はどうなっていますか。

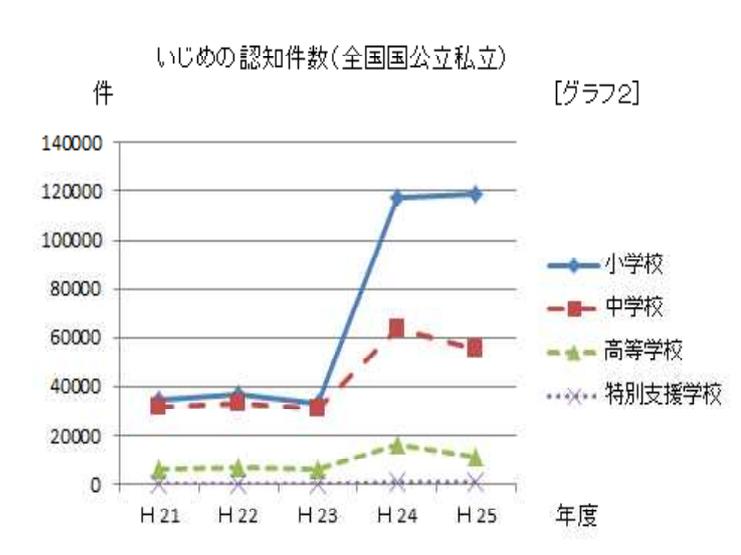
毎年、実施している「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省調査)」の「国公立小学校及び中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況等」の報告書から次のことが言える。

### 1 いじめの認知件数

[グラフ1]は、平成21年度～平成25年度の県内公立学校におけるいじめの報告件数の推移を表している。



平成23年に滋賀県大津市で起きた中学生のいじめ自死事案をきっかけとして、平成24年度に「いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査」が実施されたことにより、いじめの認知件数が急増した。その傾向は、小学校が特に顕著である。これは、各校でアンケート調査等が行われ、積極的な実態把握が行われた結果である。[グラフ2]の全国のいじめの認知件数のグラフの傾向とほぼ同じである。



なお、島根県及び全国の平成25年度のいじめ

の認知件数は

[表1]のとおりである。

[グラフ3]は、平成23年度から平成25年度の3

表1	島根県			全国		
	全児童生徒数	いじめ認知件数	1000人当たり	全児童生徒数	いじめ認知件数	1000人当たり
小学校	36582	135	3.7	6676920	118748	17.8
中学校	18667	140	7.5	3536182	55248	15.6
高等学校	14925	48	3.2	3319640	16274	4.9

※全国の数値は国公立私立学校を含む  
※特別支援学校を除く

年間について、小学校1年から高等学校3年までの学年別いじめ認知件数を表している。

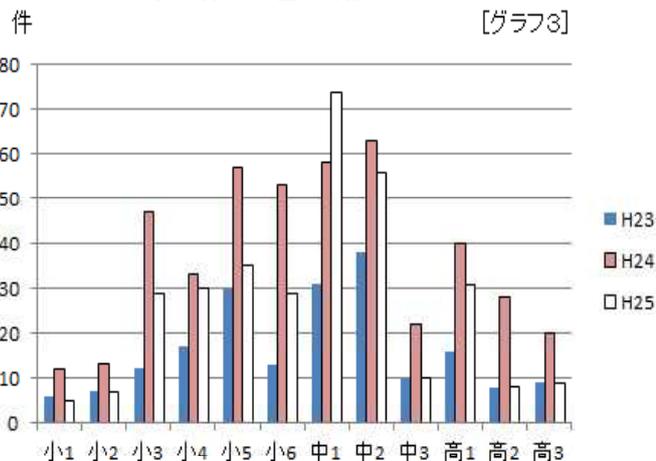
小学校の中学年から多く認知されるようになり、その件数は中学校1年次は小学校6年次の約2倍となる。その後は、年齢が進むに伴って徐々に減少しているが、高等学校1年次に再度増加する。

中学校1年次や高等学校1年次の急激な増加は、中学校・高等学校入学という環境変化（特に集団の変化）によるストレス、思春期特有の心理的な不安や葛藤等が背景として考えられる。

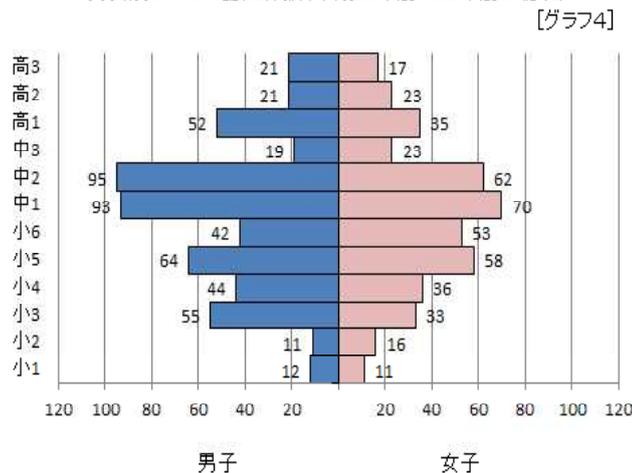
特にこの時期の生徒への対応として、小・中学校や中・高等学校間の連携、個人面談の早期実施、アンケート調査の回数を増やす等、年度当初からのきめ細かな配慮が必要である。

[グラフ4]は、平成23年度～25年度の3年間のいじめ認知件数の合計を男女別に表している。学年によって、違いがあるが、近年は、女子より男子がいじめられるケースが多くなっている傾向にある。

学年別いじめ認知件数



男女別のいじめ認知件数(平成23年度～25年度の総和)

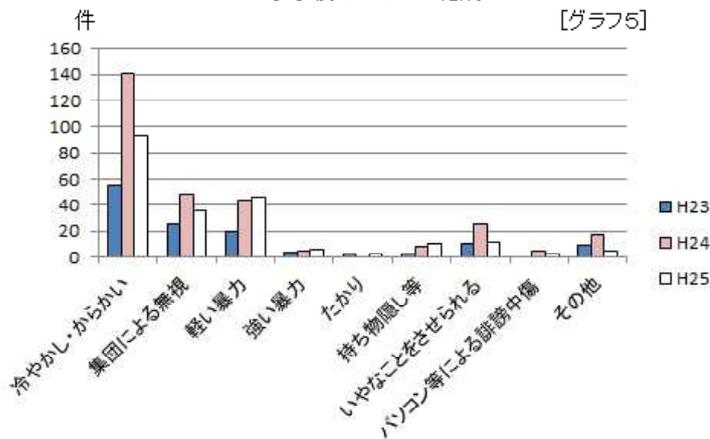


## 2 いじめの態様

[グラフ5～7]は、小・中・高等学校別にいじめの態様別認知件数を示したものである（それぞれ、平成23年度～25年度の認知件数）。

いじめには、複数の態様を伴うことが多いが、小・中・高等学校とも最も多い態様は、「冷やかしのからかい」である。また、年齢が上がるにつれ、「集団による無視」の割合が減少している。中学校、高

小学校のいじめの態様



等学校になるとパソコンや携帯電話等による誹謗中傷が多く現れてくる。また、一般的に次の傾向が認められる。

○男子に多い態様

- からかう・悪口
- 軽くぶつかる・叩く・蹴る
- ひどくぶつかる・叩く・蹴る

○女子に多い態様

- 仲間はずれ, 無視, 陰口

グラフ横軸の質問項目は次の通り

【冷やし・からかい】

…冷やしやからかい, 悪口や脅し文句, 嫌なことを言われる。

【集団による無視】

…仲間はずれ, 集団による無視をされる。

【軽い暴力】

…軽くぶつかられたり, 遊ぶふりをして叩かれたり, 蹴られたりする。

【強い暴力】

…ひどくぶつかられたり, 叩かれたり, 蹴られたりする。

【たかり】

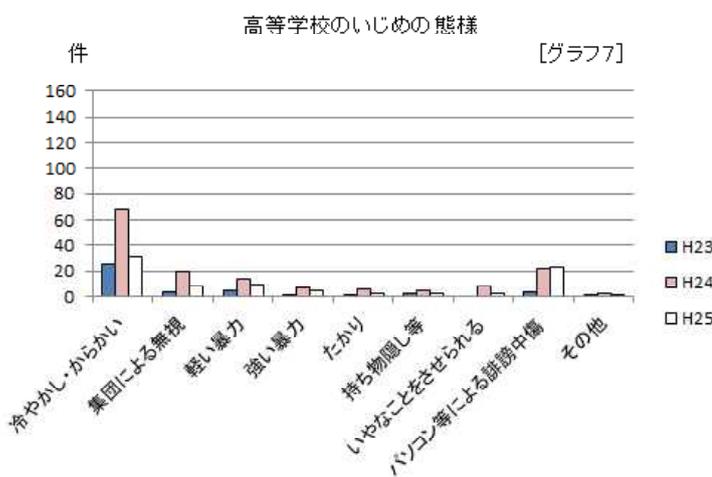
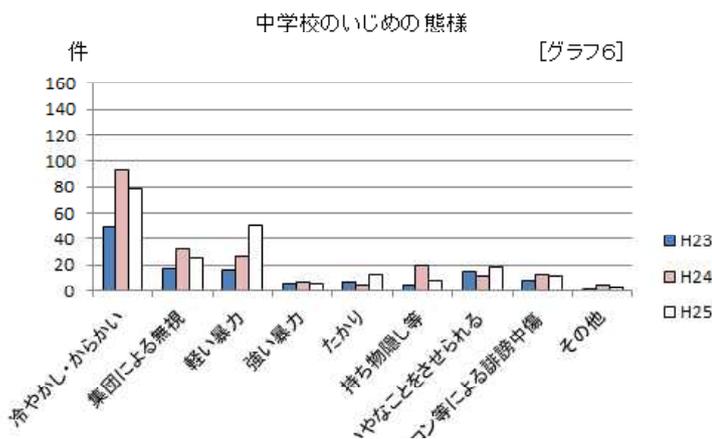
…金をたかられる。

【持ち物隠し】

…金を隠されたり, 盗まれたり, 壊されたり, 捨てられたりする。

【いやなことをさせられる】

…嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なことをされたり, させられたりする。



【パソコン等による誹謗中傷】

…パソコンや携帯電話で, 誹謗中傷やいやなことをされる。

【その他】

…その他

(Q8) いじめ相談テレフォンにはどのような相談が寄せられますか。

島根県教育委員会では、「いじめ相談テレフォン」による電話相談を行っている。この電話には、幼稚園や保育所にいる子どもから高校生までの、いじめに関する相談が寄せられる。

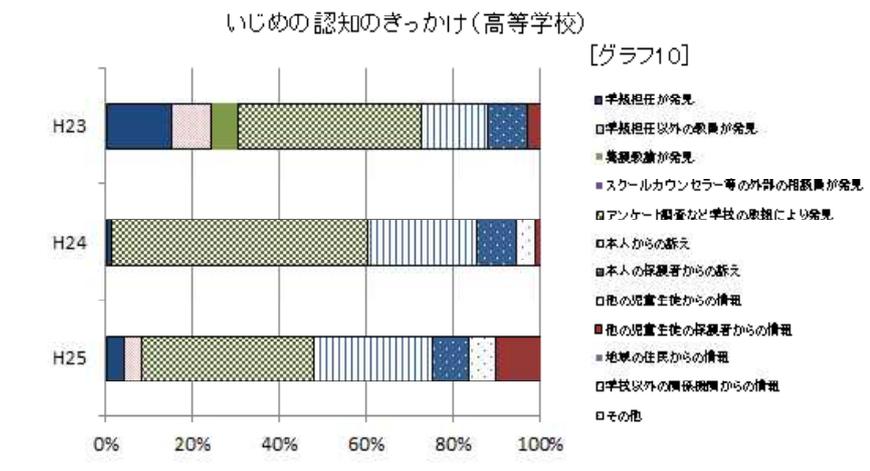
相談者は、多くは保護者だが、本人のこともある。いずれも、まず、いじめの状況が話される。「死ぬ」「うざい」「来るな」などの言葉を言われ続ける、靴や文房具などを度々隠されたり持っていかれたりする、集団で無視されたり仲間に入れないようにされたりする、体型についてしつこくからかわれる、ネットに悪口を書き込まれる等、いじめの態様は様々である。

進級進学してもいじめが続いているという例や、引越先前の学校でもいじめられたという例、長期にわたっていじめが解決していない例もある。

いじめられていることによって、下痢や腹痛などの身体症状が出ている子どももいたり、学校



のに対して，高等学校では「アンケート調査など学校の取組により発見」が多くなっている。



(Q10) いじめはその年度内に解消していますか。

[グラフ11]は，(Q9)と同調査における平成23年度～平成25年度に報告があったいじめについて，その解消状況を表している。いじめは，概ね70%程度が指導によってその年度中に解消している。

しかし，新年度を迎えてもいじめが継続しているケースもあり，各学校では，常に児童生徒の状況把握に努め，学年間の情報連携を進め，さらに進学先にも適切に情報を伝えることが必要である。

